

簡単・高機能・信頼と実績・充実サポート

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™

オンライン投稿・査読システム

「使える」から選ばれている！

世界で8,000誌以上のジャーナルで採用され、
20年以上にわたる経験とともに、今も進化を続けています。

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™

操作性に優れた オンライン投稿・査読システム

ScholarOne Manuscripts™は、世界中の学術団体に論文や学術会議プロシーディング、書籍、動画などの総合プラットフォームを提供しているSilverchair社（米国）のオンライン投稿査読システムです。

投稿・査読の処理を便利に、大変わかりやすく一元管理することが可能になります。

オンライン投稿査読システムの草分けとして世界で8,000誌以上のジャーナルでご利用いただいております。

充実のフルサポート体制や20年以上にわたる経験とともに、最も信頼のおけるシステムとして進化を続けています。

ScholarOne Manuscripts™(S1M)が選ばれる理由

ジャーナル運営の効率化

投稿から掲載論文決定までの工程をひとつのシステムで管理できます。全ての情報はサーバ上に保存されているため、ネットへ接続できる環境があれば、いつでもどこでも作業ができます。

また、進捗状況の管理やリマインダーメールの送信など、これまで人が行っていた作業を自動化することで効率化し、負担を軽減するとともに人為的ミスも減らすことができます。

優れた標準機能と高いカスタマイズ性

初めての方にもわかりやすく、直観的に操作ができるように設計されたインターフェイスや、優れた機能が標準で備わっています。

また、基本となる5つの審査フローをもとにカスタマイズを行うことで、様々なご要望にお応えすることができるとともに、Web of Science, ORCIDといった様々な外部サービスと連携も可能です。

安心のサポート体制

システムの導入・カスタマイズから、操作方法など日々のお問い合わせまで、何でもご相談ください。10年以上のサポート実績をもつ専門スタッフが直接サポートいたします。また、編集事務ご担当者様に向けた少人数制ワークショップの開催や、情報満載なニュースレターの発行なども行っています。

誰にでもわかりやすい操作画面、豊富な機能、ご利用ジャーナルに合わせた柔軟なカスタマイズ性……。お客さまがScholarOne Manuscripts™を選ぶ理由はさまざまですが、本製品の最も重要な要素は「お客さまのご負担を限りなく少なくし、より良いジャーナル出版のお手伝いをする」という明確なポリシーのもとに、フルサポートでご提供しているという点です。それは、もっともおお客様の頭を悩ませる、サイトの構築・カスタマイズにおいても同様です。難しいことはすべて弊社にお任せください。

学術出版における必要不可欠なシステムとして 世界中で幅広く利用されています



国内でも、様々な分野のジャーナルで採用されています（国内約250ジャーナル以上）

日本水環境学会 日本油化学会 日本表面真空学会 日本農芸化学会 日本畜産学会 日本気象学会	日本消化器外科学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本アレルギー学会 日本医師会 日本消化器病学会	富士技術出版株式会社 日本バーチャルリアリティ学会 日本リモートセンシング学会
Science	Medical	Technology
高分子学会 日本獣医学会 日本生物物理学会 日本繁殖生物学会 日本細胞生物学会 東京地学協会 日本動物学会 日本獣医師会 日本哺乳類学会 日本家禽学会 ⋮	日本肺癌学会 日本小児科学会 日本呼吸器学会 日本疫学会 日本糖尿病学会 日本循環器学会 国立感染症研究所 日本脳神経外科学会 日本神経学会 日本臨床外科学会 日本内科学会 日本肝臓学会 ⋮	情報処理学会 日本ロボット学会 レーザ加工学会 資源・素材学会 高輝度光科学研究センター 日本セラミックス協会 映像情報メディア学会 化学工学会 日本鉄鋼協会 日本建築学会 ⋮

「杏林舎フルサポート」によるお客様のメリット

数多くの学協会へのご提供・サポート経験をお客様に還元

「使い方がわからない…」 「サイトの内容を変更したい…」 どんなに小さなことでも、まずはご相談ください。弊社には長年、多数の学協会様向けに ScholarOne Manuscripts™ を提供してきた実績と経験があります。あらゆる問題解決に向けての最適な対処やご提案ができるよう、わかりやすいサポートサイトや、経験豊かな専任スタッフが電話やメールでお答えする万全の体制が整っています。

すぐにご利用いただける形で提供いたします

サイトの構築やカスタマイズに手を煩わせることはありません。お電話やメールにてご要望をお伺いし、弊社で迅速に設定を行ったうえでお渡しいたします。長年の経験を積んだスタッフにより、システム構成や作業の流れに矛盾がない最良の形で設定しますので、トラブルやストレスのない状態でお使いいただけます。

引き継ぎもスムーズに

サイト構成や設定変更は弊社にてしっかり管理します。お客様の担当者が変更になった場合でも、前任者だけがサイトの作りや流れを把握している状況が回避できますので、混乱なくスムーズに引き継ぎが行えます。



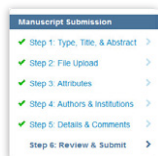


「簡単・効率的」かつ「高機能」な投稿・査読プロセス

投稿者にとって大変わかりやすく、高機能で好評をいただいている投稿画面。全世界から年間300万論文もの投稿を受け付けています。

- 表示に従うだけでスムーズに投稿が完了
- 論文種別ごとに登録内容を変更可能
- 査読用のHTMLとPDFを自動作成
- EndNoteで作成した論文原稿をインポート可能
- 著者は投稿後も、いつでも査読の進捗状況を確認可能

ジャーナルの投稿規程にあわせて論文種別や投稿チェックリストなどをカスタマイズ設定できます



Please read below and tick on each field.

- ☒ All authors in this manuscript are members of our association.
- ☒ This manuscript will be submitted only to this journal, and neither has been published nor submitted to any other journals.
- ☒ Regulations such as the ethical issue and the patient privacy rights have been strictly followed.
- ☒ All authors agreed to transfer the copyright to our association.
- ☒ You agree to declare that all statements above are true.

Do you have any conflict of interest?

☐ Yes

☒ No

If Yes, please describe the details below

Julius D. Basbaum AJ (2001) Molecular mechanisms of nociception. *Nature* 413:203-210. [Web of Science](#)

Khasar SG, McCarter G, Levine JD (1999a) Epinephrine produces a beta-adrenergic receptor-mediated mechanical hyperalgesia and in vivo sensitization of rat nociceptors. *J Neurophysiol* 81:1104-1112. [Web of Science](#)

Khasar SG, Lin YH, Martin A, Dalgard J, McMahon T, Wang D, Hundt B, Alek KO, Isenberg W, McCarter G, Green PG, Hodge CW, Levine JD, Messing RO (1999b) A novel nociceptor signaling pathway revealed in protein kinase C epsilon mutant mice. *Neuron* 24:253-260. [Web of Science](#)

Newton AC (2001) Protein kinase C: structural and spatial regulation by phosphorylation, cofactors, and macromolecular interactions. *Chim Rev* 101:2353-2364. [Web of Science](#)

Type:

CHOICE	TYPE
☒	Original Article
☐	Case Report
☐	Review Article

Title

Estrogen controls PKC-dependent mechanical

Abstract

Write or Paste Abstract

PKC is an important intracellular signaling molecule in primary afferent nociceptors, implicated in acute and chronic inflammatory as well as neuropathic pain. In behavioral experiments inflammatory mediators produce PKC-dependent hyperalgesia only in male rats. The mechanism underlying this sexual dimorphism is unknown. We show that the hormone environment of female rats changes the nociceptive signaling in the peripheral sensory neuron. This change is maintained in culture also in the absence of a gender.



ひとつの画面で全ての作業を一元管理

わかりやすく洗練された設計で、煩雑な画面移動の操作も必要ありません。

- 論文の状態と件数がリスト化され、作業の取りこぼしを防ぎます
- 作業の開始や遅れをメールで自動的にお知らせ。送信タイミングや種類も自在に設定可能
- ダッシュボードから、次にすべき作業へ即座に移動
- 査読者や編集委員の選択も簡単。現在の査読担当数や過去担当履歴も一目でわかります
- 論文の剽窃検知ツールもご利用いただけます

kyohy4-2010-0013 投稿日: 08-Jun-2010, 最終更新: 08-Jun-2010, 422 days, 1 review

審読履歴 (Awaiting Reviewer Invitation)

審読リスト

各ステータスの名前をクリックすると、そのステータスにある論文のリストが表示されます。

1. 査読プロセス

- 3 投稿受付
- 2 編集委員のアサイン
- 0 査読者の選出
- 0 査読の依頼
- 1 査読者のアサイン
- 3 査読中
- 4 査読中 (期限経過)
- 1 編集委員の決定
- 2 採否決定

右上のタブを見れば、一目で次にすべきことが分かります

iThenticate

Match Overview

Rank	Crossref	Words	Similarity
1	Crossref	131 words	3%
2	Crossref	44 words	1%
3	Crossref	26 words	1%
4	Crossref	24 words	1%
5	Crossref	24 words	1%
	Crossref	21 words	<1%

Plagiarism Check (iThenticate User Guide)

Select the file for submission to iThenticate

Or view the latest report on this manuscript

No report currently exists

Submit

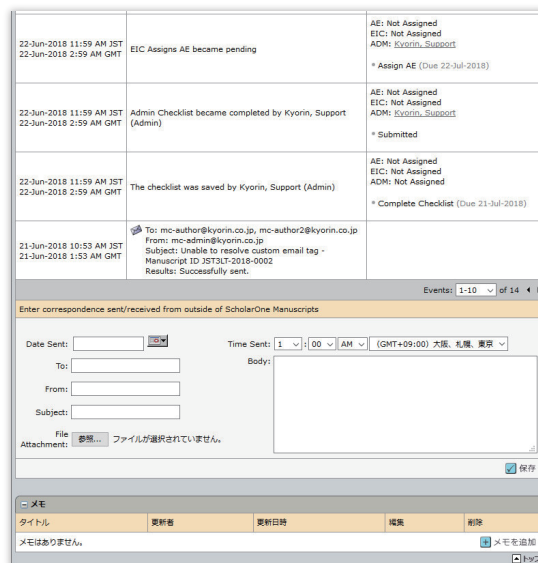
剽窃検知ツールと連携が可能

JUL
21

すべての作業・操作の履歴を管理

いつ、だれが、何を行ったかについてのあらゆる履歴がすぐに把握できますので、問題点の切り分けも簡単です。

- すべての履歴を自動的に蓄積します
- メール送信履歴も表示され、同じ画面から再送信や転送が可能
- 日時や内容を入力すれば、お電話などのシステム外でのやりとりも蓄積可能



The screenshot displays a log of system events on the left, including actions like 'EIC Assigns AE became pending', 'Admin Checklist became completed by Kyorin, Support (Admin)', and 'The checklist was saved by Kyorin, Support (Admin)'. On the right, there is a form titled 'Enter correspondence sent/received from outside of ScholarOne Manuscripts' with fields for 'Date Sent', 'Time Sent', 'To', 'From', 'Subject', and 'File Attachment'. Below the form is a 'メモ' (Memo) section with a table for tracking updates and a '保存' (Save) button.



迅速な出版が可能に

査読依頼や作業依頼の自動送信、作業の遅れのE-mail自動通知機能による効率的な査読プロセスは、論文発行までの時間を短縮し、研究成果をより早く公開することが可能となります。

- 送信のタイミング・回数は自在に設定可能
例) 作業の完了後、期限の3日前、期限日、3日後、1週間後…など

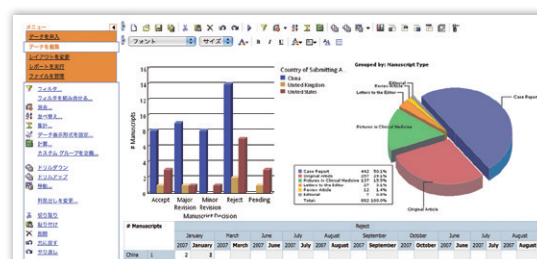
Submitted Workflow Tasks	Edit Before Sending	Active	When Task Enters?	Reminder Days	Modify	削除
④ 査読者の選出 (Select Reviewers) - add template						
SW - 査読者の選出	☐	☒	Pending or		☒	☒
SW - 査読者の選出(期日)	☐	☒	Overdue or		☒	☒
④ 査読依頼 (Invite Reviewers) - add template						
④ 査読者のアサイン (Assign Reviewers) - add template						
SW - 査読者アサイン	☐	☒	Pending or		☒	☒
SW - 査読者アサイン(期日)	☐	☒	Overdue or		☒	☒
④ 査読中 (Reviewer Score) - add template						
SW - 査読期限(1週間前)	☐	☒	--- or -7		☒	☒
SW - 査読期限(1週間後)	☐	☒	--- or 7		☒	☒



編集委員会にもそのまま使用できる、豊富なレポート機能

あらゆるデータを自由に組み合わせられることはもちろん、表やグラフなどさまざまな形式でレポートを作成できます。

- 日数などの計算や各種集計も可能
- 作成したレポートは、Excel・CSV・PDFなどの形式で出力可能
- 最新のレポートを定期的に自動作成し、受け取ることができます
- レポートのひな型も多数ご用意しております

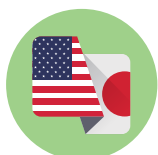




制作プロセスの管理

論文採択後も、スムーズな制作のための機能をご利用いただけます。

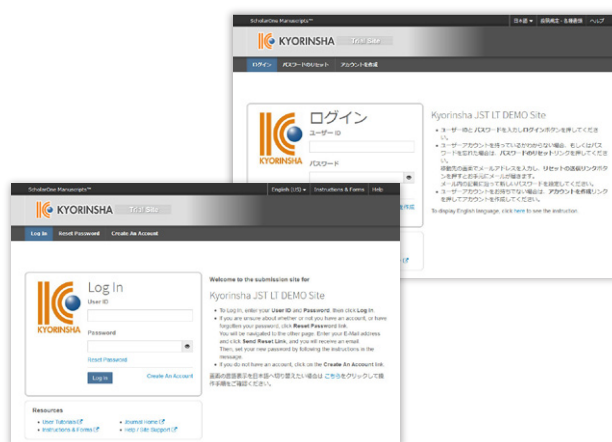
- 英文校閲や最終データ提出などの流れを自在に組み込み、管理できます



欧文誌・和文誌・混在誌に対応

ScholarOne Manuscripts™は、日本で提供される海外製の投稿査読システムの中で、いち早く和文誌に対応しました。既に多くの導入・稼働実績があり、ご好評をいただいております。また、和欧混在誌にも対応しております。

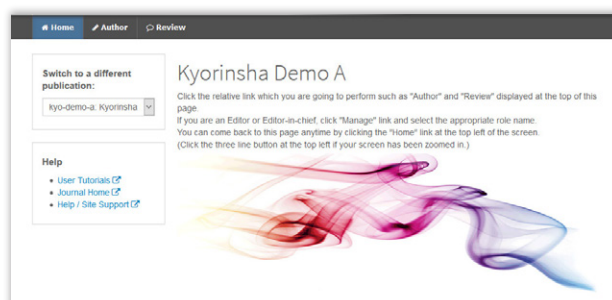
- 言語切替機能により、画面インストラクションの言語切り替えが可能に。
- 投稿者、査読者など、ユーザーの操作で日本語/各国語の切り替えが可能となります。



複数ジャーナルのユーザーを一元管理

複数のジャーナル間でユーザーを共有することもできます。例えば、英文誌⇄和文誌または関連ジャーナル間で査読者や編集委員を共有し、より効率的な運用を可能にします。

- ポータルサイトを作成し、入り口を1つにまとめることもできます
- ログイン後も、ジャーナル間の移動はワンクリックで完了





無償アップデートにより、常に進化

年数回の無料システムアップデートを実施しています。

ユーザーからの要望をシステムに反映
ユーザーはサイトからアイデアや要望を投稿することができます。

投稿されたアイデアや要望は可視化され、他のユーザーは投票することができます。

多くの支持が得られたアイデアはアップデート時にシステムに反映されます。



学術雑誌の価値が向上

ScholarOne Manuscripts™を導入した学術雑誌では、研究者がインターネットに接続できる環境にいれば、いつでもどこにいてもシステムを利用できるようになり、審査期間の短縮につながっています。本システムを使用した盤石なピアレビュー体制で優秀な論文獲得の機会を増やし、ジャーナルの価値を高めましょう。



システム導入までの流れ

ヒアリングさせていただいてから、数週間程度で導入することができます。
運用開始まではもちろん、それ以降もサポートいたします。



ヒアリング

ヒアリングさせていただきながら、ご一緒に最適なサイト構成を考えましょう！



サイト構築

お客様はお待ちいただき！最短で数日中にお渡しできます。



テスト・調整

3週間程、実際にお試しいただき、ご希望の箇所を変更・調整いたします。



運用開始

調整したのちに特に問題なければ、運用開始となります。

選ばれるには「理由」がある。

お問い合わせ先

ScholarOne 製品に関するお問い合わせは、株式会社 杏林舎までご連絡ください。



国内代理店

株式会社 杏林舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03-3910-4311 (代表) 03-3910-4517 (ダイヤルイン)

E-mail info-s1@kyorin.co.jp

URL <https://www.kyorin.co.jp/scholarone>